

I、近代国家の成立 3. 立憲国家の成立と日清戦争

国の力が強くなり、朝鮮や中国に勢力を伸ばそうとしていた日本は、1894年、朝鮮で発生した甲午農民戦争をきっかけに、清(中国)と日清戦争を始めました。日本はこの戦争に勝ち、下関条約で台湾などの領土や多額の賠償金を得ました。そのお金の一部で北九州に、中国からの鉄鉱石と筑豊炭鉱の石炭を用いて、八幡製鉄所をつくりました。しかし、日本が強くなることをいやがったロシアは、フランス、ドイツとともに、日清戦争で日本が得たリャオトン(遼東)半島を清に返すように三国干渉を行いました。そして、ロシアとの対立が深まり、同様にロシアと対立しているイギリスとの間で、1902年日英同盟を結びました。

1904年日露戦争が始まりました。戦争では、日本海軍を指揮した東郷平八郎らの活躍で、この戦争にどうにか勝つことができました。ポーツマス条約で、ロシアから樺太の南半分や南満州鉄道などを得ましたが、戦争に使ったお金をまかなうほどではなく、国民には不満が残りました。そこで日本は1910年、欧米の国々が日本の力を認めたことを背景に、韓国を日本の一部とする韓国併合を行いました。なお、朝鮮の人たちの独立への願いは強く、日本への抵抗運動も続きました。第一次世界大戦直後の1919年には、朝鮮全土では「独立万歳」を叫ぶ三一独立運動が発生しました。

こうした動きの中で、長い間、日本が要求してきた条約改正が実現しました。1894年に陸奥宗光が治外法権の改正に成功し、1911年には小村寿太郎が関税自主権を確立しました。各国との条約の不平等をようやくなくすことができたのです。

i. 日清戦争

①反日感情のたかまり=清への接近をつよめる(1889 防穀令=対日穀物輸出禁止令)

日本の商品買い占め、外国商品の流入など→国内の産業の破壊、矛盾の高まり

②1994 [1 甲午農民]戦争=反封建的・反侵略主義的農民反乱(「斥洋斥倭」)

→6月10日 全州和約で政府との合意成立(奴婢解放、未亡人の再婚承認、雑税廃止など)



[2 清]政府、閔妃政権(B)の要請で出兵、それをうけ日本も出兵→農民軍を鎮圧

→両国、朝鮮の内政改革をめぐり対立

③7月25日 [3 日清]戦争勃発→国内の世論・民党→戦争を支持・排外主義化

→日本軍の圧倒的優勢で進行

④[4 1894]年4月[5 下関]条約締結 伊藤博文・[6 陸奥宗光] ↔ 李鴻章

ア)朝鮮の「[7 独立]」承認

イ)[8 遼東]半島、[9 台湾]、澎湖島

ウ)2億両(テール)の[10 賠償金]支払い

エ)四港の開港、外国企業の設立許可←(a) 諸列強の要求を代弁する

⑤[11 ロシア]は日本の[12 遼東]半島獲得に反発

→[13 ドイツ][14 フランス]を誘って日本に圧力をかける([15 三国干渉])



日本内の反[16 ロシア]感情の高まり([17 臥薪嘗胆]のスローガンの高まり)

→国内における[18 軍拡]路線の進行

⑥[19 **台湾**]の植民地化→住民の激しい抵抗を受ける

台湾総督に[20 **樺山資紀**](海軍)を任命

4. 日露戦争と国際関係

a. 立憲政友会の成立

①日清戦争と[1 **三国干渉**]→[2 **ロシア**]への反発と[3 **軍国**]主義的な風潮の高まり



政党…(b) **ロシアへの対抗姿勢を強め軍備拡張**をすすめる政府の政策を支持する方向へ。

→自由党、第2次伊藤内閣を支持(板垣の入閣)

②第三次伊藤内閣…[4 **超然**]主義をとり、1898 軍備拡張と[5 **増税**]案を提出

→自由党と進歩党(旧改進黨)が合同、議会の多数を占める[6 **憲政**]党成立



③[7 **隈板**]※内閣(第一次[8 **大隈**]内閣)成立=日本初の[9 **政党**]内閣

※隈板内閣=[10 **大隈重信**]首相(旧改進黨)[11 **板垣退助**]内相(旧自由党)を中心とする政権

→党内対立(尾崎行雄の「共和演説」)から4ヶ月で退陣→[12 **憲政**]党と憲政本党に分裂

④第2次[13 **山県有朋**]内閣…憲政党(旧自由党)の支持を受け、反動的な政治をすすめる。

・[14 **文官任用**]令改正=官吏への政党の影響力拡大を防ぐ

・[15 **軍部大臣現役武官**]制=陸・海軍大臣は現役の大将・中將に限定する。

・[16 **治安警察**]法=政治・労働運動の規制

⑤山県に反発した憲政党、[17 **伊藤博文**]に接近→1900[18 **立憲政友**]会結成

→第四次伊藤内閣結成→[19 **貴族院**]の反対により短命に終わる。



⑥[20 **桂太郎**](←山県系、保守的・藩閥政治継承・反政党的)

交互に政権を維持([21 **桂園**]時代)

[22 **西園寺公望**](←伊藤系、「進歩的」、[23 **立憲政友会**]総裁をかねる)

b. 中国分割の進行

①日清戦争以後の中国→24 **列強による中国分割**進む。

ドイツ=膠州湾(中心地[25 **青島**])、フランス=広州湾、イギリス=九龍半島・威海衛

②ロシア…[26 **遼東**]半島南部の旅順・大連を租借

[27 **シベリア**]鉄道と連結する[28 **東清**]鉄道の敷設

→ロシア本土からの(c) **物資や兵員の極東への大量輸送** 可能に

→日本・[29 **イギリス**]・[30 **アメリカ**]の危機感を高める

③アメリカ、ジョン=ヘイによる[31 **門戸開放**]([32 **機会均等**] [33 **主権尊重**]) 宣言を発する。

アメリカの考え…(d) **強大な経済力を背景に中国市場進出をめざす→中国の分割に強く反発**